



「女性の目線から防災について語る会」を開催します

和合町自主防災隊

最近、様々な分野で男性も女性もなく、それぞれの立場を尊重して、協働して活動を行うことが当たり前になってきました。しかしながら「防災」というと、男性が中心になって行うもの、女性は「炊き出し」担当、と思っている方が、今でもたくさんおられます。防災行政においても女性はわずかな人数のみとなっています。

また、和合町の自主防災隊員の名簿を見ても、殆どが男性。訓練の説明会に奥様が代わりに出席、訓練時にご主人が参加。内容が伝わっていきなくて訓練に支障が生じたという例も起こっています。実際に大規模災害が起こり、避難所が開設された時、男性の人が中心になって運営が行われたことで、避難所運営に問題が生じたという事例がたくさん報告されています。

- (例)
- ・女性の下着を男性が配布していたので、とても嫌だった
 - ・パーティションは必要ないと言われ、プライバシーが侵害された
 - ・洗濯物を干す場所についての配慮がない
 - ・トイレの設置場所に配慮がなく、とても不安だった
 - ・子どものいる場所がなく困った



避難所運営を行う上で、また、その準備に企画段階から女性が参加することで、男性にも、女性にも、また子供連れや、高齢者にも快適な避難所を作ることができます。

今回、和合町内の女性の方に向けて、男女共同参画の視点で防災を語る会を開催いたします。

女性だからこそ、子育て世代のママだからこそ、介護をしているお母さんだからこそ、気が付くこと、こうすればいいという知恵を出していただくことで、避難所運営を企画の段階からスムーズに行えたらいいなと思っています。

防災意識の高い女性の皆さん。

避難所を快適なものにするお手伝いをしてくださる方。

実際の時は無理でも提案の段階で知恵やアイデアを出していただける方。

一緒に活動をしてくださる女性の方とお話をする機会を作りました。

ざっくばらんに、皆さんのお話が伺えればと考えています。

ぜひ、お集まりください。



日時：2月21日（土） 13：30～15：00

場所：馬生会館1階 研修室

申込：申し込みは右のQRコードから

